

ていくという極めて文化的な意義を有しております。 る世界に誇るべき国家的行事であると同時に、 こ同慶の至りにございます。ご高承の通り式年遷宮は、

わが国固有の文化伝統を未来に継承

千三百年の歴史と伝統を有す

第六十二回式年遷宮の諸祭儀・諸準備も順調に執り進んでおられるとのご様子、

皇室の御祖神である天照大御神をお祀りする伊勢の神宮におかれまして

畏くも天皇陛下におかせられましては、

御即位

-年の佳節

節をお迎え

誠に慶賀の極みにございます。

「天皇陛下御即位二十年埼玉県奉祝の集い 一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

が、

かくも盛大に開催



#### 祝 天皇陛下御即位二十年

# 遷宮で 結ぶ人の輪

百九拾号

天皇陛下御即位 十年埼玉県奉祝の集 () 祝 辞

庁長 中 山 高 嶺

れますにあたり、

をご巡幸になり、 られました。こうした両陛下のお姿、 うに起こる自然災害にあたっては、被害をこうむった土地や人々を常にお心に掛けられ ていただきます。 きました。さらに、 お励ましになってこられました。また、いかなる時も、 我が国においても、 結びに、本日ご参集の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げまして、ご挨拶とさせ 御即位二十年の佳節を機に、 顧みますと、「内平らかに、外成る」の思いを込めて、平成の御代が始まりました。この間 皇室のご繁栄を祈念し、 常に世界の平和と国安かれ民安かれの祈りを重ねてこられました。 国民統合の象徴としてご多端なご公務を担われると共に、 世界的に見ても激動の二十年でありました。両陛下は、 改めて天皇陛下の大御心に心からなる感謝を捧げます 皇室と国民の親愛の絆がさらに深まることをご期待 お言葉、笑顔に国民が励まされ、沢山の勇気を戴 常に国民の心に寄り添われてこ

**発 行** さいたま市大宮区高鼻町1-407 埼<u>玉</u>県神社庁 電話048(643)3542番 庁 アサヒ印刷㈱

|回神宮式年

1

0

誠に

# 



れる見識を持つべき、 宗 门間 分の言葉で内外に語 教観」について、 であれば「日本人 本の政治に携わる

あるか自覚の無いところに、未来への展望を であれば、自分たちの国や社会の背骨が何で そう私は常々感じておりました。このことは 説得力のある言葉で語ることは出来ないから マスコミ人や評論家など、世論をリードする 進むべき方向を考え、リードして行く人間 |場にある方々についても、です。国や社会

段階ではありますが、思うところを書かせて とについて、まだまだ見識とまではいかない るのだと思います。自分なりに学んできたこ とは、まさに私自身がその見識を試されてい 話するのは釈迦に説法 いただきます。もっとも、 今回このような有難い機会をいただいたこ が)でありますが。 (この言い回しも変で 神職の皆さまにお

化圏の人から見れば、 かもそれを宗教行事としてあまり意識せず 日常的に接しています。一神教の宗教文 Ò 日本人は多種多様な宗教行事に、し 全く違和感があると思

> という人もいます。 からの批評の受け売りで、 残念ながら日本人の中にも、 ては、堕落しているなどという人もいます。 います。日本人は宗教心が無く無節操だ、 日本人はダメだ、 そのような外国 果

この寛容性がどこから来るのかと言えば、こ は恥じ入る必要は全くなく、むしろ様々な宗 教の影響も) れは我が国古来の神道的宗教観 ことを、もっと誇りにしてよいと思います。 でしょう。 教に対する「寛容性」が我が国の特徴である しかしそれは大きな間違いであって、 にあることは間違いないところ (もちろん仏 我々

持ってきたことも事実です。 ような独善的思想や主義に対して、 一方で日本人の多くは、この寛容性を壊す 警戒心を

点でいかに価値の高い生き方であるか、 ということが、人間を人間として大切にする 戦いが続いております。宗教的寛容性を持つ 界は今も宗教の名の下に血で血を洗う凄惨な 内に対しても特に意識せずに、また自信も持 性について、これまで外にPRするどころか、 する国民性を持っているけれども、 的寛容性と、それを破壊する独善主義を警戒 つことなく来てしまったように思います。 そして付け加えるなら、 日本人はその宗教 その国民 b 世 0

> 持ち、 たが、 と考えるからです。 骨が何であるか自覚しなければ、 ドして行く人間が、自分たちの国や社会の 介してゆくべきでしょう。 もっと日本人の宗教観について一定の見識を こと、それにはまず、日本の政治家たるもの、 背骨を見失ってしまっているかが分かります。 見ると、我が国の若者が、 を得ません。近年のオウム真理教事件などを 主義に毒されてしまう恐れがあると言わざる す。ですが内に対してさえ、自らの背骨、 うか。外へのPRはもともと下手な国民性で と私たちは自覚しても良いのではないでしょ いては、それこそいつの間にか独善的思想や ている「宝」を自覚しないで自信を無くして 望を説得力のある言葉で語ることは出来な 我が国の宗教的寛容性を自覚し誇りを持つ 胸を張って自国民に、そして他国に紹 国や社会の進むべき方向を考え、 如何に国や社会の 冒頭にも述べまし 未来への展 IJ

のも 受け入れつつも、 近代以降は欧米から、 化摂取の原理であります。古代には大陸から、 の神仏習合の原理は、 の宗教的寛容性は培われて行きましたが、こ ました。いわゆる神仏習合によって、 教との共存と融合を永きにわたって図ってき 我々の祖先は古代の仏教伝来以降、 と、そこには日本の さて我が国の宗教的寛容性の背景を考える のとして発達させ、 日本人はそれらを自分たち 「国柄」が見えてきます。 そのまま我が国の他文 我が国は様々な文物を 使いこなすことに成 神道と仏 日本人

功しております。

文法的に異なる大陸の言語の文字である漢字の導入がよい例でしょう。漢字と大和言葉である。後世の文学のジャンルも非常に多岐にわえ、後世の文学のジャンルも非常に多岐にわたることになりました。最初は他の文明からたることになりました。最初は他の文明からたることになりました。最初は他の文明が国独自由に使いこなす道具としてきたのが我が国独の歴史であると言っても過言ではありません。

れても、 方をしている人がいるので唖然とさせられまさえ、日本文化は中華文化の亜流のような見 してきたといえます。 となく、独自の繊細で豊かな文化文明を形成 も同感です。 はサミュエル・ハンティントンでしたが、私 異なる文化文明圏を形成したと主張したの 東アジアの 日本は大陸からの文物や思想を受け入 決して大陸の文化文明圏に属するこ 我が国を代表する政治家の中に 中 で、 Н 本は中華世 一界とは 別個

底した破壊を免れました。 皇帝やフランス絶対王政の国王とは異なり、 大陸のような王朝が変わるたびの大殺戮と徹 から様々な制度も取り入れてきましたが、大 系の皇室をいただいてきました。おかげで !連綿と受け継がれてきております。 宗教的、 !のような王朝の交代劇が無く、 なぜそれが可能であったか、 権力者がいかに交代しようとも、 文化的権威の象徴としてその地位 天皇は中華王朝の 我 連綿と続く が国は 天皇は H 本人 大陸

ない最も大きな特徴でしょう。
ない最も大きな特徴でしょう。、江戸以前は仏今でも神道の最高権威であり、江戸以前は仏今でも神道の最高権威であり、江戸以前は仏今でも神道の最高権威であり、江戸以前は仏今でも神道の最高権威であり、江戸以前は仏今でも神道の最高権威であり、江戸以前は仏

でしょうか。 一千年以上の昔にこのような皇后や王妃がい業の話は有名ですが、果たして他国において、業の話は有名ですが、果たして他国において、のような皇后や王妃がいた。 光明皇后の施薬院、悲田院などの慈善事

先の大戦の前夜、天皇機関説への排撃に始れてい風潮が一部にあります。

有の、 の敬愛の念を表してゆきたいものです。 先人の努力によるものであると考えます。 実に皇室の存在と、皇室を大切に支えてきた 古代から連綿と現代まで継続してきたの 性、文化的寛容性の源である神道的宗教観 う私は素直に思います。 のために祈り続けておられる、このような皇 確信します。今も天皇陛下は日々国民や世界 後世にわたって支えるべき存在であると私は 室をいただく日本人に生まれてよかった、 は「我らの皇室」です。他国に無い我が国固 しかしそろそろ私たちは、 国民統合の尊き象徴として、 我が国の宗教的寛容 自然体で皇 私たちが 皇室 室 は そ ^

申し上げたいと思います。神職に身を置かれている皆さまに一言お願いそろそろこの稿も終わりです。最後に私は、

ますが、 民のありようが求められている時 を守りつつ、それらを脅かすような事態には まさに一人ひとりの人権を尊重 権の世紀、 容性を破壊するような独善的思想や主義を峻 共栄を図ってゆく知恵、そしてそういった寛 いでしょうか。 別拒否する姿勢、これらは古来から日本人が 人と人、さらには人と自然とがお互いの共存 毅然として立ち向かう、 大切にしてきた宗教観です。二十一世紀は人 他人の宗教や思想につい 政治の役割は大変大きいと自覚しており 宗教界の役割もまた大きいのでは また環境の世紀と言われますが そういった国 てそ į れを尊 代に 地球環境 重

の筆を置かせていただきます。またご活躍されんことをお願いしまして、私て、明るい日本の未来のために大いにご発言て、明るい日本の未来のために大いにご発言

埼玉県本庄市市長)

## 吉田 信解(よしだ しんげ)

平成十七年より本庄市市長 (現職) 平成七年より本庄市議 (三期) を経て平成七年より本庄市議 (三期) を経て昭和四十二年 埼玉県本庄市生

見据えての活動も必要となってきています。

平成二十一年度 教化研修会報告 東 秀幸 



と致しました。

にて開催されました。 お伊勢参り 県内神職六十名の参加を頂き、三峯神社 旅の文化」として、 九月九・十

講師に神職であり旅の文化研究所所長であ

本年  $\dot{o}$ 教化研修会は研修主題を 「日本人と

と共に、参宮推進のための企画等を立案する 修会を、より多くの参加者を募って開催する 増頒布を目指し、遷宮奉賛のために教化活動 社関係からの発信が多い中、自発的参宮気運 勢へ」を活動テーマとしました。活動内容は 頒布向上」という方針に則り、「伊勢から伊 された「神宮式年遷宮奉賛の啓発と神宮大麻 の向上を模索し、遷宮奉賛の啓発と神宮大麻 より「祈りの地を巡る旅」をご講演頂きました。 に必要な資質を養うことを目標とした教化研 第六十二回式年遷宮に向けて神宮並びに神 教化研修部は、 任命初頭に松岡委員長が示 ンサーの鬼頭あゆみ先生 講演、 本人とお伊勢参り 並びにフリーアナウ H

持っている方、 るなかで、 奉賛・神宮大麻頒布増進を最終的な目標とす 途であることは事実でありますが、 に教化していくのか、少子高齢化の進む現代 者周辺の方が多いのも事実であります。 おいて二十四年後の第六十三回式年遷宮を 伊勢参りは、 所謂、 今般、 或いは無関心な方をどのよう 遷宮に対し一般的な関心を 遷宮を控えて増加 神社関係 遷宮 0)

神崎宣武先生 る神崎宣武先生より、

なり、 という記録があり、 時の全人口の八人にひとりの割合で参宮した お蔭参りに代表される群参が起きました。 りと、伊勢の地への旅の憧れを両翼として、 活動が一 ります。往時、 なおすと、 たことになります。 宿場町が整備されるとともに、 そこで研修部が注目したのは江戸時代であ 同時に庶民の神宮への崇敬の念の高ま 般庶民にまで広く行きわたるように 年に一千五百万人程の人が参宮 参勤交代の制度により、 それを現在の人口比率に 御師の教化

経済の安定が必須であります。 欲である」これを持続可能にするには社会 遊山の旅、 や冒険等の旅はこの範疇でなく、 の旅欲は私的なハレの消費活動であり、 化を中心にご講義を頂きました。 人には旅欲なる欲望が内在している、 演の最初は、 現代の観光旅行を対象とした旅 神崎先生より日本人の旅文 先生は 単なる物見



れません。事実、 戸の旅文化は探 歴史観からは江 わめた」という 生活は困窮をき 度から「庶民の 分制度や年貢制 江戸時代中期の 江戸時代の

民間省要』には

遊山のために旅行する、

世に稀なり」と記

ように、 読まれている

さら

に江戸後期

する」という信(タテマエ)を起せば、 恐れがあります。 されています。これは何を意味しているかと せざるをえず、 いうと「ホンネとタテマエ」の使い を巡礼修行の旅は、そのかぎりにあらず」と されています。しかしながら「信を起して国 能となります。 3建領主といえども農閑期の旅であれば黙認 **.**あって「殿様の武運長久・五穀豊穣を祈願 穫に影響し、 庶民の自由気ままな旅は、 或いは一揆を誘発 晴 原則、 れてホンネの行動 庶民の旅は禁止の中 しかねない 農作物の 分けであ 旅 いかに が

央に位置し なかでも伊勢への旅が何故人々の心を捉え 伊勢が年中温暖であり日 ているという地理的・ 本のほぼ中 気候的条

件が大きか り」と川柳で もちょっと寄 b 所ではないの けないという 冬は大雪で行 たと思われま 鎮 す。 「大神宮へ 偏狭の地 (座され、 しか

> についてお話を頂きました。世界文化遺産と して「神宮」並びに ではないでしょうか、 す。江戸時代と現代の庶民の生活は全てが違 を伸ばし楽しもうという気概も理解できま ミ回らんことを願ふなり」と書かれています。 仏閣を見回り、 京、大坂、四国、 は、その殆どが祈りの地である、乃至は、 たところであるそうです。洋の東西を問わず、 ン世界遺産」レポーターとしてのご活躍を通 いますが、ある意味全てが同じ或いは近い "旅行用心集"には 次の鬼頭先生の講演は、 庶民にとっては一生に一度のハレの旅で 香取、 神宮でさえもタテマエにして、 日光、奥州松島、 西国の人は伊勢より江 九州迄も名所、 「東国の人ハ伊勢より 「若い世代へのアピール」 と述べられました。 N H K 信州善光寺迄拝 旧 「探検 跡、 大いに足 戸、 鹿 神 大 、あっ いロマ 0



としての非常に高い 石造りの宮殿 古より残っ

と思います、 があります。 ことのない常若、 再生を続けることによる永遠性、 はなにも生み出すことはありません。 と述べられました。 その象徴が神宮式年遷宮である 鬼頭あゆみ先生 時代を超えて継承される心 はありますが、 朽ち果てる それ以外 宗教施設 日本は た産物 ,価値

あろうと思います。 伊勢参り」がなにより重要なひとつの証左で なものを感じる」と感想を述べています。「お とかいっている場合じゃなくて、 は正宮大前を拝して「商売繁盛とか家内安全 とがその第 神宮を知ってもらうこと、 私も鬼頭先生からのご提案もあり、 歩であると思います。 体感してもらうこ 教化研修部長 もっと大き 北野武氏 何より

#### 一平成21年度一 **教化研修会日程表**

9月10日(木)	9月9日(水)	
起 床		5:30
奥 社 登 拝 (登拝不参加者 は朝拝)		6:00 8:00
朝 食 (荷物整理)		
TIT [11] 7% ±		9:00
班別発表		10:00 11:00
班 別 表 彰	受付	11:30
閉 会 式		午後
昼 食	量 食	
解散	正式参拝	12:15
	集合写真撮影	12:45
	開 会 式	1:00
	講演1 神崎宣武氏 演題「日本人と お伊勢参り」	1:30
	意見交換	3:00
	休憩	3:30
		3:45
	講演 2 鬼頭あゆみ氏 演題「祈りの地を 巡る旅」	
	意 見 交 換	5:15
	入浴 食事	5:45
	分 科 会	7:00
	「伊勢への誘い、 ブームを作ろう」	0.00
	懇 親 会	8:00
	就寝	9:00

御即位

# 

に、天皇陛下御即位二十年奉祝埼玉県委員会 埼玉会館大ホール(一千四百名収容) 市の後援により盛大に開催されました。 (関根則之会長) 「天皇陛下御即位二十年埼玉県奉祝の集い この集いは、平成の御代二十年、天皇陛下 去る九月二十六日、さいたま市浦和区の が主催、 埼玉県・さいたま を会場

のであります。 民祭典が、本年十一月十二日に皇居前広場で 連盟が中心となって組織する奉祝委員会に 府県での奉祝事業の一環として開催されたも 行われました。これらに呼応した、全国都道 奉祝中央式典に続いてのメイン行事である国 よって計画されました。昨年十二月十二日の 五十年の佳節にあたり、日本会議や国会議員

り、 をはじめ、 相川宗一さいたま市長 の代表及び個人の約四百名の奉祝委員によ 勇人同市長がそれぞれ就任。本県神社庁・県 根則之氏。名誉顧問には上田清司埼玉県知事・ 玉県護国神社奉賛会会長・元参議院議員の関 の政治・経済・宗教・各種団体等三十の団体 主催の奉祝埼玉県委員会は、日本会議埼玉 本年四月二十五日に設立され、 発起人の呼掛けに賛同された県内 (当時)、 現在は清水 会長に埼

> 総代会・神政連県本部その他関係団体も参画 に就任されました。 し、神社界を代表して中山高嶺庁長が副会長

という三部構成で行われました。 ションとして宗家龍虎太鼓 高徳アサヒビール株式会社名誉顧問による は奉祝式典、 御即位二十年を寿ぐ」、第三部はアトラク 当日は、ほぼ満員の参加者のもと、 第二部には記念講演として中條 (川口市) の演奏

教授が交々祝辞を述べられました。 事・清水市長・川本宜彦埼玉県商工会議所連 根会長が挨拶を述べ、また来賓として上田知 合会会頭・中山庁長・長谷川三千子埼玉大学 第一部の奉祝式典では、 開会の辞に続き関

御即位二十年、

重ねて天皇皇后両陛下ご成婚

なりました。 併せて聖寿万歳が奉唱され、 続いて、 が朗読し満場の賛同を得て決議されました。 子孝行埼玉県モラロジー協議会青年部部会長 に「お祝いの詞」を参加者一同を代表して金 上顧問)などの来賓・役員の紹介があり、 民主党をはじめ、衆参の県選出国会議員 玉県議会議員·市町村長·市町村議会議長 前の総選挙で政権交代を果たしたばかり 田中宏明解脱会御霊地局長の発声に 盛会裡に閉会と 以

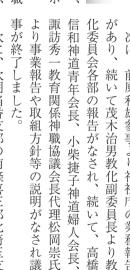
したことに、衷心より厚く御礼申し上げます。 斯界を挙げて奉祝の誠を捧げることが出来ま 支部から約百六十名の関係者が参加のもと、 方々に協賛会員として御協力を賜り、 神社界からは、 〈奉祝埼玉県委員会委員長・神社庁参事 奉祝委員の他にも多くの 平成21年度埼玉県神社庁神職総会

### 埼平 玉県神社庁神職総会 一十一年度

### 弘 之

代会長の挨拶、 開会の辞・神宮遥拝・国歌斉唱・敬神生活の 綱領唱和に続き、 テル深谷」を会場として開催されました。 大里支部が当番で深谷市の 六五名の参加をいただき、 平成二十一年度埼玉県神社庁神職総会は 来賓の各郡市総代会長を始め、 来賓の紹介があり総会に進み 中山高嶺庁長・井上久県総 | 埼玉グランドホ 開会式が行われ 各支部神職

総会の座長は、 議事に入り、 新井聡高麗神社権禰宜が代表とし 当番支部島田 新任神職十八名の紹 道郎 大里支部



単なる変化「チェンジ」でなく、 切であるとのことでした。 質をしっかり護り宗教法人を運営する事が大 今日の状況に即応して行く部分のバランスを 中で「聖」なる本質の部分と「世俗」という 考にしながら話された。大きく変った環境の なる本質の部分を守るための、「世俗」の部 また、宗教法人運営において必要な事は、「聖 革であり、その変化にどの様に対応すべきか、 生による「宗教法人運営に関する現状と課題 部長から挨拶があり、 分の対応はいかにあるべきか、 についてで、宗教法人を取巻く環境の変化は、 研修は、 現状の状況を良く認識すると共に、 野村證券公益法人課の塚嵜智志先 研修へと進みました。 等々資料を参 構造的な変 本

としての抱負などを聞きながら楽しい 親会が始まり、 その後、 押田豊副庁長の締めを以って盛会裏 竹本佳德副庁長の乾杯で和やかに懇 懇親会が催され、 新任神職の自己紹介や、 大里支部事務局 島田大里支部長 時を

## て登壇し、庁長より記念品が授与されました。 次に、前原利雄参事より神社庁の業務報告

武蔵一 月六日、 埼玉県神社庁本宗奉賛委員会が

次に、 次期当番支部の南條喜三郎北埼玉支

会場を小ホールに移して埼玉県神 会出席者が列席 頒布始祭が行わ 社庁神宮大麻暦 長をはじめ委員 氷川神社 中山高嶺庁



員により

行さ



## 本宗奉賛委員会および 布始祭 神

髙 司

組みについても、 は、 年度を迎えた南埼玉支部の押田豊支部長から 奉斎啓蒙ポスターが披露された。 デルとなった、 り報告され、 なった入間支部の取り組みが原将英支部長よ あった。次いで、一千万家庭神宮大麻奉斎運 神宮大麻暦交付数について事務局から報告が 次に、その他の支部および関係団体の 本宗奉賛委員会では、 今後の取り組み計画などが報告された。 モデル支部制度について、 宮氷川神社大ホールで開催された。 支部独自企画で支部長自らがモ 支部内各社掲示用の神宮大麻 順次報告がなされた。 先ず平成二十一年度 さらに、 最終年度と

ならない。

## 「未来の神だな」・「参拝の作法案内板 報告

## 明

たものである。 ?望む神棚を検証することを目的として行っ ッチする新しい神棚の模索と、一般の方々 デザインコンテストは、 現 代の住宅に

この-301-の事前モニタリングでは、お よそ半数の方に祀っても良いとの回答を頂い 賞作品)として株式会社湊から頒布される。 たい」と答えている。 全国から注目されて 5 0 1 | 二十一年十一月、『いのり』シリーズ、 特に二十代に至っては、 (大賞作品)、-301-いるこの 六割の方が「祀 新し い神棚 (統理

未来の神だな の心が受け継がれ は、先人達が大切に いる。しかしそれ たちが求められて れられる神棚のか 情の中でも受け入 変わりゆく住宅事 してきた「いのり」 少している現在、 大麻頒布数が減

たものでなければ

られることを祈りつつ。 式年遷宮を支える多くの若い世代に受け入れ 前にある…。」「いのり」シリーズが、 「不易と流行を備えた神だなが、今、 (神社実務部副部長 次回の 目の

楽普及研修会

千

島

幸

明

せ、神道教化を目的とした「参拝の作法」 御即位二十年という記念すべき佳節に合わ 木製案内板を作製致しました。 この度、 神社実務部では、 本年が天皇陛 0 下

ました。 を現代風に一新し、参拝者がイメージしやす いように、 同じですが、 下御即位十年を記念して作製したものとほぼ 体裁は今から十年前、北足立支部が天皇陛 説明文にも新たな文言を加筆致し 若年層を意識して挿入イラスト

げます。 各位にはこの場をお借りして厚く御礼申し上 合計百五十余枚のご注文を頂きました。 て頂きましたところ、四十二名の宮司様より これまで県下の全神職の皆様にご案内させ 関係

神社実務部員

## 年

と終日研修に励みました。 た参加者三十六名が神社庁雅楽講師指導のも が開催され、 に神社庁研修所主催による「雅楽普及研修会 九月二日、 県内各支部を通じて申し込まれ 武蔵一 宮氷川神社呉竹荘を会場

した。 り、 研修の目的や受講の心構えを含め挨拶があ 開講式では、 当日は先ず氷川神社に正式参拝、 講師紹介、 研修所を代表して前原参事より 日程確認を行い研修に入りま 次い

古が行われ、最後に全員で平調の音取、越天ました。その後受講者一同に会して合奏の稽 曲を中心に唱歌、 の指導を受けました。経験者は主に平調の五 吹き方等基本の説明を受けた後、平調越天楽 別に指導が行われました。各管の研修は初心 五常楽、 経験者に分かれ、 修は、 午後三時まで笙、 陪臚を演奏しました。 演奏等細かな指導が行われ 初心者は楽器の扱いや 竜笛

を誓い合って研修を終了しました。 なく稽古継続の大切さが語られ、一層の精進 閉講式では講師より研修で終わらせること

りを見せていることが感じられました。 加を申し込まれた方々もあり、 雅楽に関心を持たれて、 前年受講された方も多く見うけられ、 三管全てに初心者の参加が見られました。又 昨年から新たに設けられた研修会ですが、 先ずは見学をと、 本研修が広が

雅楽講師・三峯神社権祢宜



## 神主さんと神社へ行こう 報告

#### 武 田

淳

の鷲宮神

社

を

と題したツアーを開催しました。 神社庁では 回に亙 ŋ 九月十九日、 神主さんと神社へ行こう。 十月三日、 十月十

日の三

ツアー

は、

県内の神社を神職が案内す

関係のメーリングリストなど多方面で行いま か、神社オンラインネットワーク連盟や通訳 展会場などにはチラシを設置して戴いたほ たい」という想いから企画しました。 報が溢れる昨今、 繋がりのない人を対象に募集致しました。情 るもので、 「掲載するとともに、実施神社の社頭や物産 をコンセプトに、 告知は、 ツアー料金は昼食、 神社庁のウェブサイト・埼玉新聞 「神社ファンを作りたい」という 「信頼できるものを提供 神社に興味はあるが全く バス代等を含んで

九月十九日 を設定し、 区の武蔵 では、さ のAコース の三コース たま市大宮 . В . きお札立てなどのプレゼントも行いました。

ツアーは、

五千八百円。

参加者には、

御朱印帳や鳥居付

義は、

の説明、



長瀞町の寶登

秩

父神

社って何?」と題した講義を行いました。 る境内・由緒の説明があり、 手水や正式参拝の作法説明、 な事を資料を示しながら説明しました。 伊勢の神宮をはじめ神社本庁や神社庁 神社建築や神職について等、 越市の川越氷川神 社を巡りました。 市の高麗神社と川 Cコースでは 日高 山神社を、 各神社職員によ 各コースでは、 武田が「神 基本的 十日の 灩

司による「神主の一 際に大前にて奏上。Cコースでは高麗文康宮 Bコースでは、 ついて針谷重威保存会会長から説明があ また、 ました。 Aコースの鷲宮神社では催馬楽神楽に、、コースによって特色のある企画も用 三峯神社で祓詞を浄書し、 日」と題した講演が行わ ń 実

> 質問 のかし した。 とはできるのか」「 性でも神職になるこ なるにはどうすれ ことで「神職さんに せ、 階に男女の差はある 限はあるの 最も多か 0) も多く寄せ 式年遷宮は 神社に関する などがありま か 神職に関する か 年 0 - 齢制 「 女 職

天満の違いは何か」などが聞かれました。 宮だけしか行われない のか」「稲荷・八

行くツアーがあったら嬉しい 緒に回って丁寧に質問に答えてくれるなんて こででもけっこうやっている。 最も多く、 なかなかないことだから貴重」 ありました。「 のツアーをやってもらいたい」という声を戴 にも行ってみたい いたことが窺い知れました。また、 多くの参加者の方々から、「また、 本事業を継続していきたいと考えており 神社庁では、 内容に関して概ね満足戴い 般ツアーにはない体験が心に響 「ただの神社参拝ツアーならど 今後も新たなコースを検討 などの意見も聞かれまし という意見が 神職さんが一 ているようで 「県外の神社 「伊勢に ぜひこ

神社庁録事

アー中には、

参

加者が沢

Ш

0)

質問を寄

## 埼玉県神道青年会会長 高橋 信和埼玉県神道青年会事業報告

昭和聖徳記念財団

先生 前参事

現在、 もって、 きまして、 まな事業を展開して来られました。 が直面する諸問題と向き合いながら、 を始め多くの先輩方は、 今期の活動 活動をさせていただいております。 -の佳節を迎えました。 本年四月の総会より十月末までに行われた 多くの先輩方が築かれた土台の上で、 |県神道青年会は、 各事業に取り組んで参りました。 新しい視点や新たなる気持ちを デーマを「再生」とさせていただ 創立以来、 常にその時代に斯界 昨年度創立五十五周 私たちは 歴代会長 そこで、 さまざ

◎献木(六月九日)事業企画部 主な事業について、ご報告申し上げます。 本年四月の総会より十月末までに行われた

本年は、児玉支部管内の五社に榊を献木させていただきました。参加者は各社を参拝した後、献木・看板製作・竹箒製作のグループに分かれて作業を行いました。竹箒製作では、に分かれて作業を行いました。参加者は各社を参拝しせていただきました。

## ◎勉強会(七月二十八日)研修部

講演をいただきました。和天皇のご事績と日本の国柄」と題して、ご徳記念財団前参事により「伝えてゆきたい昭川越氷川会館を会場に、中曽根吾郎昭和聖

講演をいただきました。

# 本年度は、寶登山神社を会場に、正式参拝、◎第二十九回禊錬成研修会(九月三日)研修部





荒川に移動して、禊行事を行いました。して、ご講演をいただきました。午後からは事長に「神道政治連盟の活動について」と題開講式の後、曽根原正宏神政連埼玉県本部幹

# ◎シンセイジャーナル発刊(九月下旬)事業発信部

を開催しました。正式参拝、開講式の後、ごと題して、「式年遷宮と奉賛活動」~式年遷宮の心を未来に伝える特別推進室
 と題して、一之宮氷川神社を会場に、勉強会と類して、「式年遷宮と奉賛活動」~式年遷宮のと報告を記述を設置して、一之宮氷川神社を会場に、勉強会(十月二十一日)式年遷宮の心を未来に伝える特別推進室

うよろしくお願い申し上げます。げますとともに、ご指導ご鞭撻を賜りますよりました皆様方、諸先輩方に厚く御礼申し上的事業を行うにあたり、ご支援ご協力賜わ

## の提出について承認事項に係る認証手続結了届

け

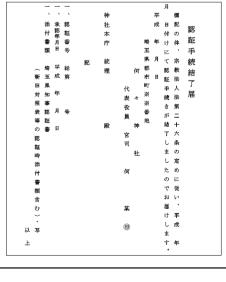
社本庁統理宛届け出ることとなりました。 認証書の写を添付の上、 付されることにより効力が生じる規則 しない神社規則の変更 尚、 左記の要領により認証手続完了後、 成二十一年七月一 役員定数、 従前通り規則変更 会計年度等の変更》) 日より、 (所轄庁の認証書が交 神社庁を経由 (市町村合併や住 変更登記を要 におい して神 当該 変更

登記完了届けを提出下さい。

登記完了届けを提出下さい。

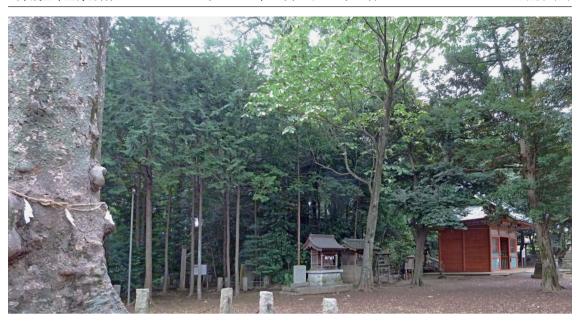
登記完了届けを提出下さい。

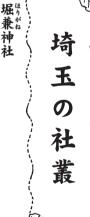
登記完了届けを提出下さい。



(神社庁事務局

(11)	No	190	)										捍	打	3	Ę.	Ì	具	才	申	才	<u>±</u>	J	宁	7	報							(平	成	214	年1	.2月	15	日)
9 9	9		9					9	9		9			9	9	9		9		9		9		9	8		8		8	8	8		8	8			8		
25 24	21		20					19	16		16 \( \)			9 10	8	7		6		3 4		3		2	31		30 31		29	28	27		26	25			23 5 24	ا	宁
祭儀研究部会 於 神社庁	於 神社調	橋学芸員出席 於	天皇陛下御即位二十年奉祝埼玉実行委員会		前原参事出	於 大宮氷川神社·鷲宮神社	武田録事・高橋学芸員出向	$\overline{}$	.懇話会 於 大宮・氷II	中山・押田・原・前原他	神宮大麻暦頒布	教化研修会 五十四名受講 於 三峯神社	於 富山「オーバードホール」	全	神社庁職員採用試験 於 神社庁	神社実務部会 於 神社庁	宮澤主事出席 於 埼玉会館	位二十年奉祝埼玉実行委	千島(幸)・竹本(多) 出席 於 神社本庁	神社庁祭式講師研究会	於寶登山神社	神青会禊錬成研修会 三十五名受講	於	楽普及研修会 二十三名受講		原・宮澤参加 於 青森県八戸	埼玉県宗教連盟視察研修	於 大宮・氷川神社	Λ,	於		於、秩父「田舎家」	別表神社懇談会 前原参事出向	祭式研修会 四十名受講 於 箭弓稲荷神社	久伊豆神社	武田録事・高橋学芸員	神		) 務日誌 沙
	11									10			10	10		10			10			10			10		10		10		10			10		9		9	9
6	5 6		3	28	27	21				20	18		15	14		10 ∫ 11			10			8			6		5 9		5		4			3		29	2	27	26
武田録事出席 於 八重洲ビジネスセンター不活動宗教法人対策会議	情報部会参宮研修 於 伊勢	本本部長·中山庁長他参列 於			教化事業部会 於 神社庁	.研修部会 於	Ш	神社御創建百四十年記念大祭	中山、東角井、井上出席 於 本庁	臨時評議員会	靖國神社秋季大祭当日祭 中山庁長参列	録事出向 於 東京地裁:	<b>禰傍聴・報告集</b>	祭儀研究部会 於 神社庁	山庁長参列	熱田神宮本殿遷座祭・臨時奉幣祭	於 高麗神社・川越氷川神社	武田録事・高橋学芸員出向	C I I	於	中山・茂木・高麗他出席	会	神宮大麻曆頒布始祭 於 大宮・氷川神社	本宗奉賛委員会	正副庁長会・役員会	青木·守屋受講 於 神宮道場	第八十四回中堅神職研修 (丙)	於 春日部日通ペリカン・アローセンター	神宮大麻曆奉送作業 宮澤、武田、高橋出向	中山庁長出席 於 國學院大學	賀	於 三峯神社・秩父神社・寶登山神社	武田録事・高橋学芸員出向	神主さんと神社へ行こう(Bコース)	於埼	総会 百八十一	中山庁長出席	通泰宮司特級昇進を祝う会	中山庁長・前原参事他出席 於 埼玉会館天皇陛下御即位二十年奉祝県民の集い
	唐子袖		玉津鳥		伊豆	帰幽				10 31		8 31	免		9 . 1	本務替				8 31	転出		9	転入				11 15		11 1			9 . 1	任	任免辞				11 12
	唐子神社宮司		島神社宮司		神社大			山畑		榊原		宮原			宮原			一條		渡邉			石橋			大川		澤田		関山		宮原			令				
			討		神社大雷神社合殿宮司			護		好允		※ 義雄			義正			一條裕太郎		俊寛			和彦			純孝		日昌生		敬純		義正					Ī	前原	天皇陛
				<del></del>	-殿宮司			(本)		(本)		(兼)		(旧)				(本)		(本)	(	(目)				(新)		(兼)		(兼)		(本)					1	参事参	下御即 会
(九月十日 享年八十九歳)	渡邊 一夫 (比 企)	(九月八日 享年六十歳)	宮本 実 (大 里)	月二十八日	青木			白髭神社宮司外三記	(北足立)	埼玉県護国神社禰	(入 間)	八幡神社宮司外八社宮司		星宮神社禰宜 (入 間)				草加神社権禰宜 (北足立)				佐賀県稲荷神社禰宜			(北埼玉)	久伊豆神社禰宜		唐子神社宮司外三社宮司		白髭神社宮司外三社宮司	(入 間)	八幡神社宮司外八社宮司					於皇居前広場	列・武田禄事助勢	天皇陛下御即位二十年奉祝国民祭典祭儀研究部会 於 神社庁





扇央部のこの辺りは水に乏しく、大規模な開発は江戸時代まで行われなかった。その中サ、セホッ。。 武蔵野台地は、青梅を扇頂部とする太古の多摩川による隆起扇状地であるため、特に 堀兼神社 狭山市堀兼二二二一

歌枕になるほどに武蔵野の名所として、 紀貫之・源俊頼・藤原俊成・西行・慈円など多くの歌人に詠まれ、さらに、清少納言もまるでき、後を多見さいます。それではない。ままで、ままである伊勢が「争でかと思ふ心は堀かねの井よりも猶で深きまされる」と詠んでより、 にあって、当地は既に古代からの交通路に面していたことから開発も古く、社記による ることが、その目印であったと思われる。 水脈の在処を知る術は、樹木の繁茂、 ような高燥な台地では地下水面も深く、井戸にふさわしい場所を求めるため、 目印と水の守りにしたのが当社の始まりであったと思われる。どちらにしても、 地であっても井戸の開削がなされた。恐らく、掘り上げた土砂を塚となして祠を祀り、 時、こうした主要官道には、駅家に準じて通行の人馬に飲み水を提供するため、 を掘り進めて神に祈ると水が湧き、よって傍らの塚に浅間宮を祀ったとされる。 を掘っても水が得られなかったので富士山に祈ったところ、儀だ大雨が降り、 と、日本武尊が東征の帰途、当地に立ち寄り、 を潤すことが出来た。しかし、水の乏しい里人のため、掘り兼ねていた井戸 就草子』の この「堀兼の井」(県指定旧跡)は、 慶安三年(一六五〇)川越城主松平伊豆守信綱が社殿などを再建し、この内、 社前を南北に横切る道は、鎌倉街道の支道で「堀兼道」と呼ばれているが、古代には 「井」を列挙する中で、「井はほりかねの井」と筆頭に挙げるなど、 特に湿潤を好み、根を深く張るケヤキの大木があ 都においても著名な名水井戸であった。 平安前期の女流歌人で三十六歌仙の一人でも 兵のために水を求めたが得られず、 (堀兼の井 地表から 兵の渇き 当地の

モミ(県天然記念物)があったが、平成四年に枯れてしまったのが惜しまれる。 真左)など多くの樹種がある。また本来、富士山付近にしか生育していないというバ 越城主秋元但馬守が堀兼の井を整備し、 当社の社叢は、コナラやアカマツの群落を中心に、神木となっているケヤキの大木 市指定文化財となっている。 由緒を記した石碑を奉納している。 。また、 天保十三年 (一八四二) には、 随身門